

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

平成 26 年度
第 11 回 関東・東海・北陸ブロック会議
—9/9(火)鳥羽シーサイドホテルで—



9月9日、10日の2日間にわたり、鳥羽シーサイドホテル他において、第11回関東・東海・北陸ブロック会議が開催された。開催県の三重県に加え、静岡県、愛知県、富山県、石川県、福井県の各県漁協青壮年部組織の構成員ならびに事務局約60名が参加した。この会議は、関東・東海・北陸ブロック内の各県漁協青壮年部組織が一堂に会し、情報交換等を通じて交流・親睦を深めて組織間の連携強化を図るとともに、今後の青壮年部活動の活性化に資することを目的としている。今回は、漁業士会が開催する関東・東海ブロック漁業士会研修会（三重県農林水産部が事務局）と合同での開催となった。

冒頭、三重県漁青連の田中会長、三重県漁連の中村専務理事、三重県農林水産

部水産経営課の石井課長らのあいさつの後、三重県、静岡県、愛知県、富山県、福井県、石川県の順で、各県漁青連の取り組みについての報告が行われた。

その後、会場を移動して漁業士会と合流し、研修会が行われた。研修会では、水産庁増殖推進部研究指導課情報技術企画官の上田勝彦氏による基調講演が行われた。講演で上田氏は、「昔ながらの食べ方を伝える“伝えるべき料理”、新しい食べ方を伝える“伝えたい料理”は、イベントや料理教室などで伝えられている。しかし、これらに加え、日常的に作ってみようと思える“伝えるための料理”を考えていく必要がある。」など、魚食の復権・普及について自論を展開した。

講演後、グループ討議が行われ、参加者は漁業種類ごとに1班7～8名、全15班に分かれ、①どうしたら水産物を食べてもらえると考えるか、②そのためにどんな活動をすべきか、③従前の活動で効果のあったもの・なかったものについて話し合った。グループ討議では、各班ごとに意見交換が積極的に行われ、最後に上田氏の総括があり、閉会となった。



講演の様子



グループ討議の様子

2 日目は、県外参加者を中心に、伊勢神宮での特別参拝および、志州屋（みえぎよれん販売（株）の直営店）の視察などを行った。



漁業士会研修会の様子

全国漁船安全操業推進月間の実施(10/1~10/31)

全国漁船安全操業月間実行委員会では、平成 26 年 10 月の 1 ヶ月間にかけて、漁業者及び漁業関係者に対して効果的な事故防止キャンペーンを実施。

漁業・水産業界の連携による漁船事故防止に向けた取り組みを一層推進していく必要があることから、「平成 26 年度全国漁船安全操業推進月間」を全国一斉に展開する。主な取組内容は下記の通り。

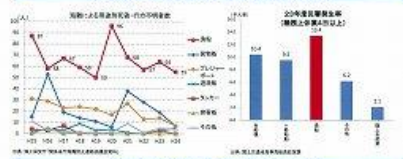
- [主な取組内容]
- ①安全操業や AIS の有効性等に関する広報普及啓発
 - ②海難防止講習会の開催
 - ③ライフジャケット着用の徹底
 - ④ライフジャケットの点検・整備等に関する講習 等

近年の漁船の衝突海難の原因としては、「見張り不十分」、「操業不適切」及び「居眠り運転」といった人為的要因によるものが 9 割以上を占めていますので、より一層の安全対策を心がけてください！

10月は全国漁船安全操業推進月間です！

目的
 ・漁船安全操業に関する漁業者意識の向上
 ・ライフジャケット着用率の向上等による人身事故発生数の減少
 ・安全航行・安全操業の徹底による漁船海難発生等の減少

漁船での操業は、いつも危険と背中合わせです
 (海難による死者・行方不明者の約6割が漁船、労働災害発生率は陸上産業の約6倍です)



自分の命を守るため、家族と仲間のため、ライフジャケットを必ず着用しましょう！

「ライフジャケットは、万一の緊急事態の際、自分の命を守ってくれます。
 ・行方不明になった場合、捜索期間まで何年かかまることがあります。
 ・行方不明になった場合、仲間が長期間、捜索に動いて捜索することになります。」

現在、ライフジャケットは着るかある簡易式のポンプタイプだけではなく、船体の揺れや風、波浪、クォーター波、波浪による船体転覆を防止するための、さらに効果的には自動式の手動式があるなど、たくさんの種類があります。
 それぞれの特長を把握した上で、自分の船型や作業内容、時間などにより適した種類を選択するようにしてください。

10月は全国漁船安全操業推進月間です！

「カイゼン講習会」を活用して、海難防止と労働安全環境の改善に関する知識を有する「安全推進員」を養成しましょう



運輸安全委員会のホームページを安全操業に活用しましょう！
 (過去の海難事例から事故防止策などを見ることができます。)

船中船外、「船中-船外」発生を速やかに「海難防止」に報告してください。
 「海難防止」は、人命救助、被害の軽減、被害の軽減に大きく貢献します。

ごみなことお知りませう。
 全国漁船安全推進月間実行委員会
<http://fish-safety.go.jp/haandm2/>

運輸安全委員会
<http://www.msa.go.jp/110/index.html>

【主な予定】 〇9月22日(月) お魚料理コンクール(津)

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。